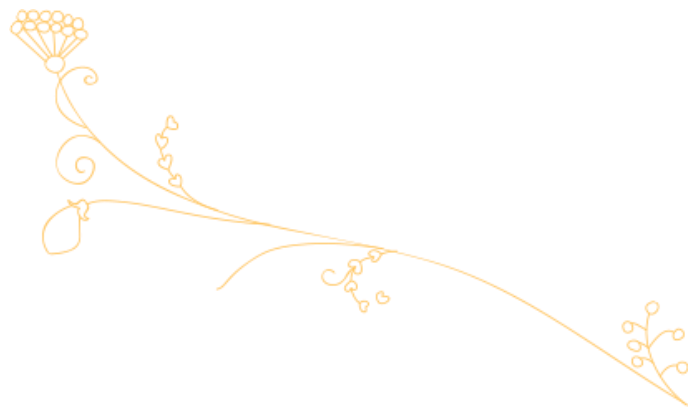




# 2019年12月期第1四半期 決算説明資料

---

2019年5月  
株式会社セレス（東証第一部：3696）



1. ビジョンとビジネスモデル
2. 連結決算の概要
3. 成長戦略と事業概況



# 1. ビジョンとビジネスモデル

## インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。

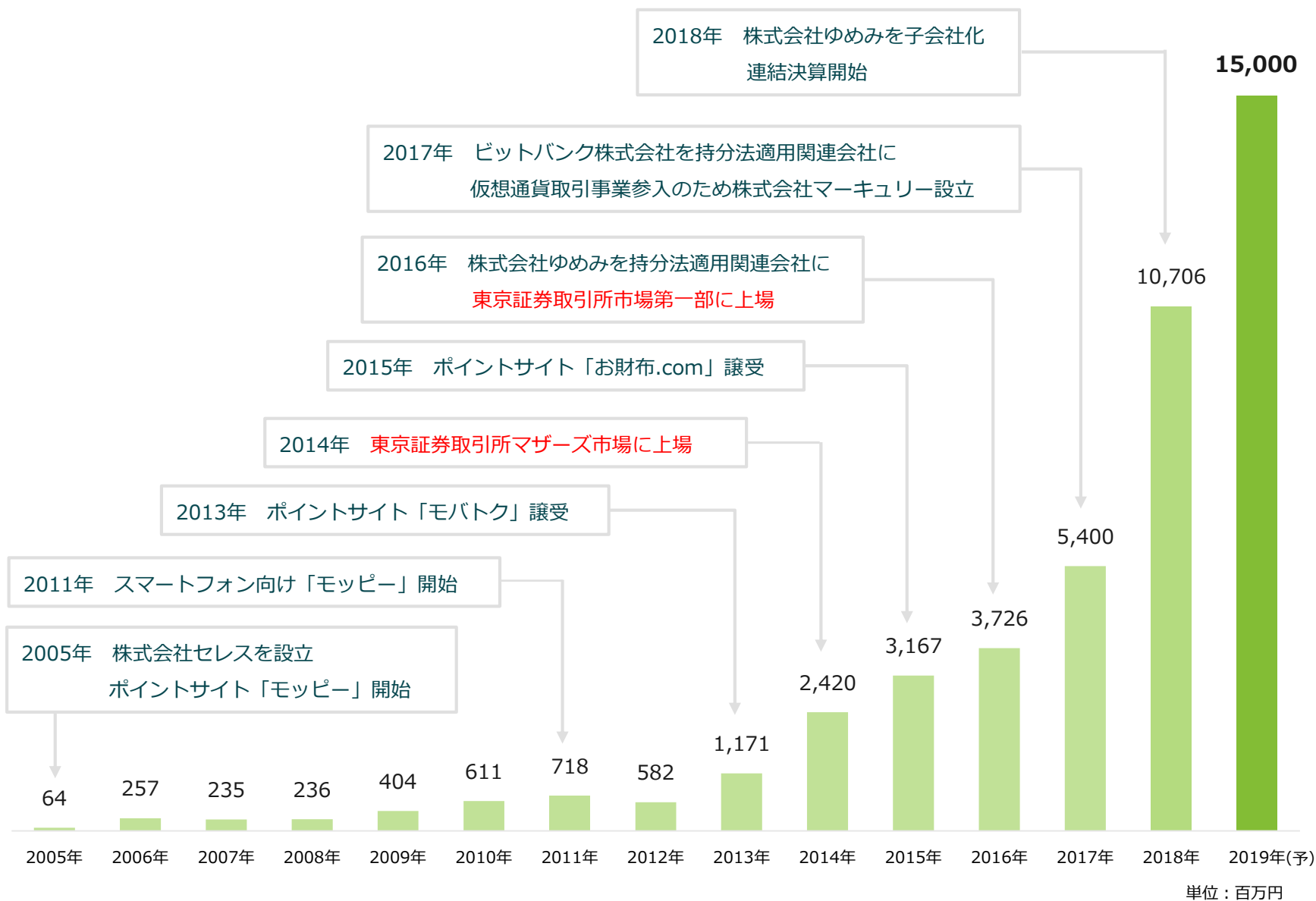
# モバイルから生活を豊かに



ceres











CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。  
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

# セレスの沿革

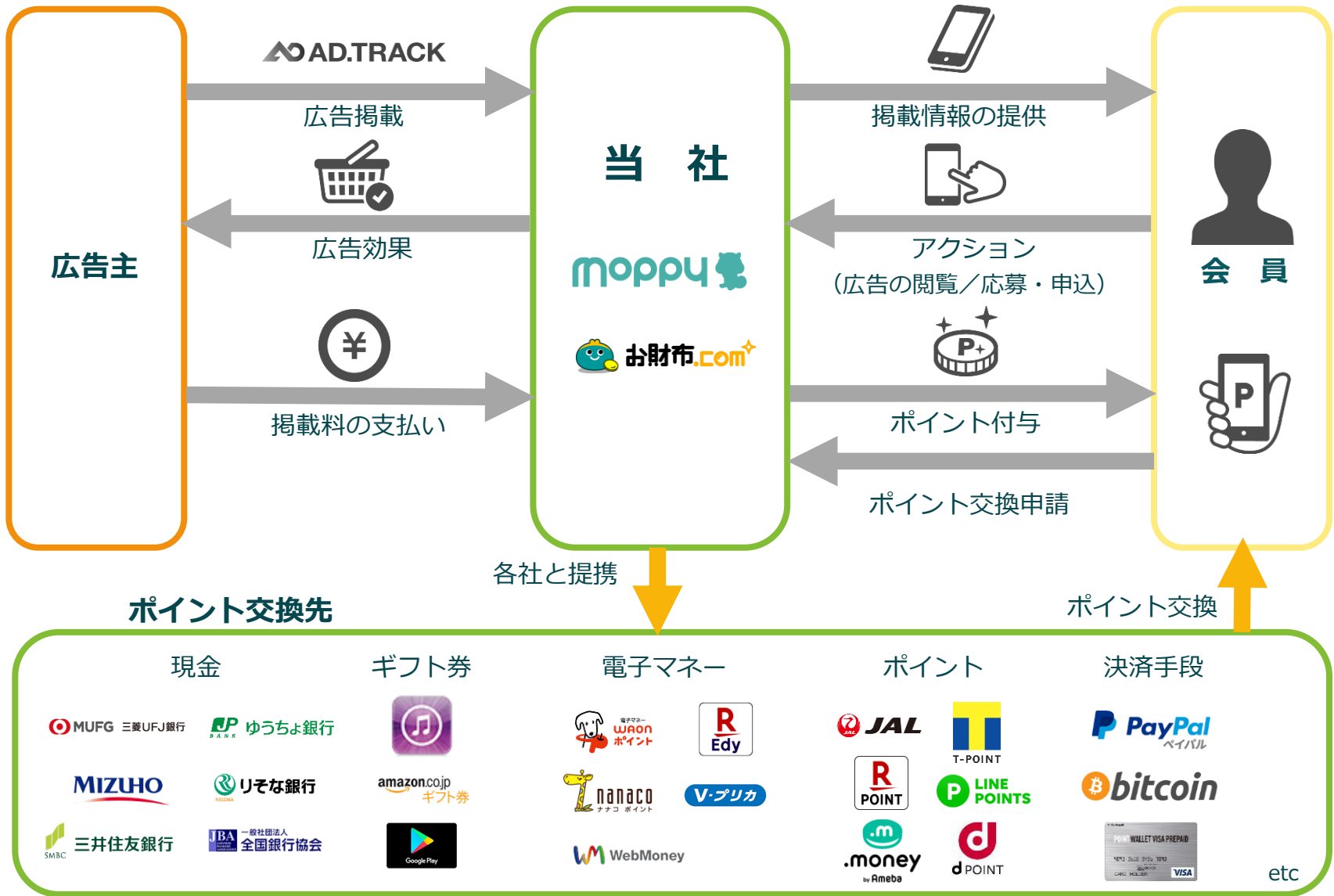


# セレス事業領域と主要サービス

ポイントメディア・コンテンツメディアを中心とした「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

	モバイルサービス事業	フィナンシャルサービス事業
ポイントメディア	 	スマートフォン決済 
アフィリエイトプログラム		
コンテンツメディア	  	
O2O	オムニチャンネル 	仮想通貨関連  
その他事業		投資育成事業

# ポイントメディアのビジネスモデル





## 2. 連結決算の概要



## 2019年12月期第1四半期 連結決算概要

売上高	<b>4,060百万円</b>	(前年同期比	<b>137.1% 増</b> )
営業利益	<b>220百万円</b>	(前年同期比	<b>511.2% 増</b> )
EBITDA	<b>263百万円</b>	(前年同期比	<b>281.7% 増</b> )

- 売上高は前年同期比で倍以上の137%増収と過去最高の四半期売上高に前年同期比でポイント42%、コンテンツ163%の増収で貢献
- 営業利益はモバイルサービス好調で前年同期比6倍以上の511%増益
- 営業投資有価証券の1.5億円減損処理（売上原価）により営業利益下押し
- マーキュリーにて仮想通貨交換業者登録への投資継続

※連結業績と単体業績との比較になりますので、前年同期比は参考数値となります。

# 損益計算書の概要（第1四半期）

（単位：百万円）	第1四半期・連結 （2019年1-3月）	前年同期・単体 （2018年1-3月）（※4）	前年同期比（※1）	前四半期・連結 （2018年10-12月）（※4）	前四半期比
売上高	<b>4,060</b> (100.0%)	1,712 (100.0%)	+137.1%	3,327 (100.0%)	+22.0%
売上総利益	<b>1,379</b> (34.0%)	596 (34.8%)	+131.4%	1,168 (35.1%)	+18.0%
販売費及び 一般管理費	<b>1,158</b> (28.5%)	560 (32.7%)	+106.9%	891 (26.8%)	+30.0%
営業利益	<b>220</b> (5.4%)	36 (2.1%)	+511.2%	277 (8.3%)	-20.4%
経常利益	<b>188</b> (4.7%)	30 (1.8%)	+527.5%	-30 (-%)	—
四半期純利益（※2）	<b>138</b> (3.4%)	11 (0.7%)	+1098.8%	-409 (-%)	—
EBITDA（※3）	<b>263</b> (6.5%)	69 (4.0%)	+281.7%	-217 (-%)	—

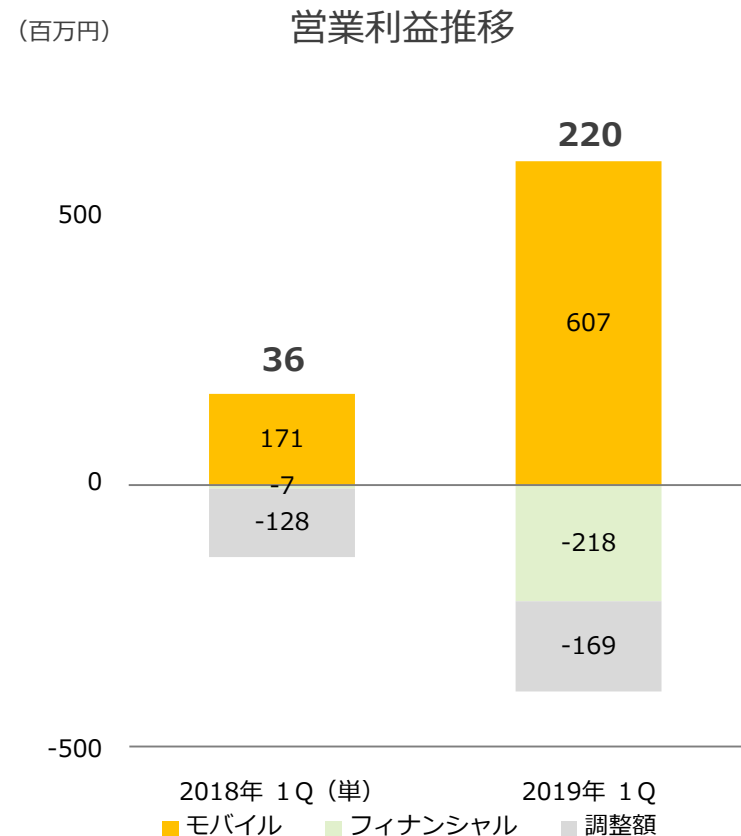
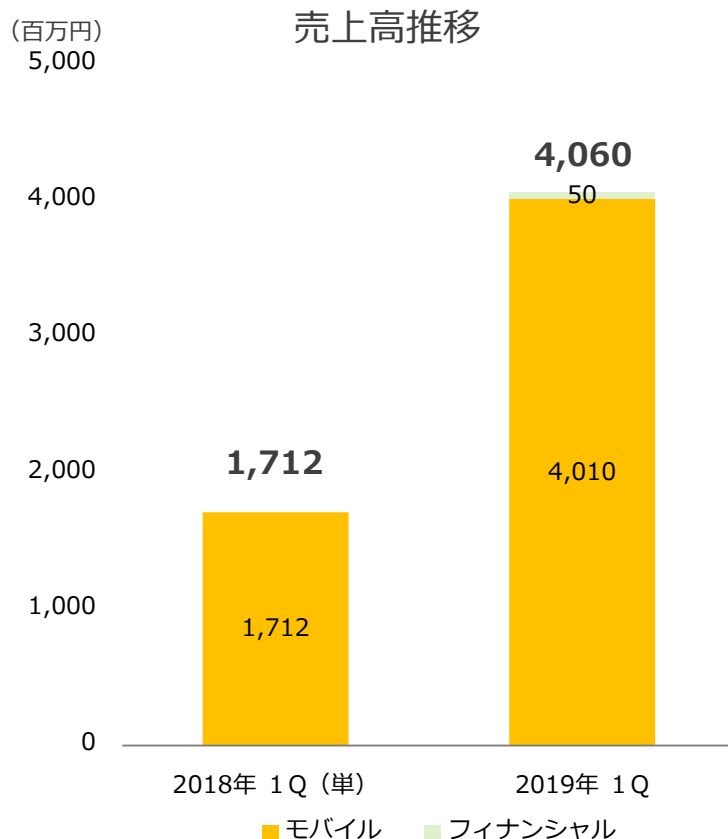
※1：2018年第1四半期は単体業績、2019年第1四半期は連結業績であるため、前年同期比は参考数値となります。

※2：四半期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

※3：EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損失に含まれるのれん償却に相当する額も加算)

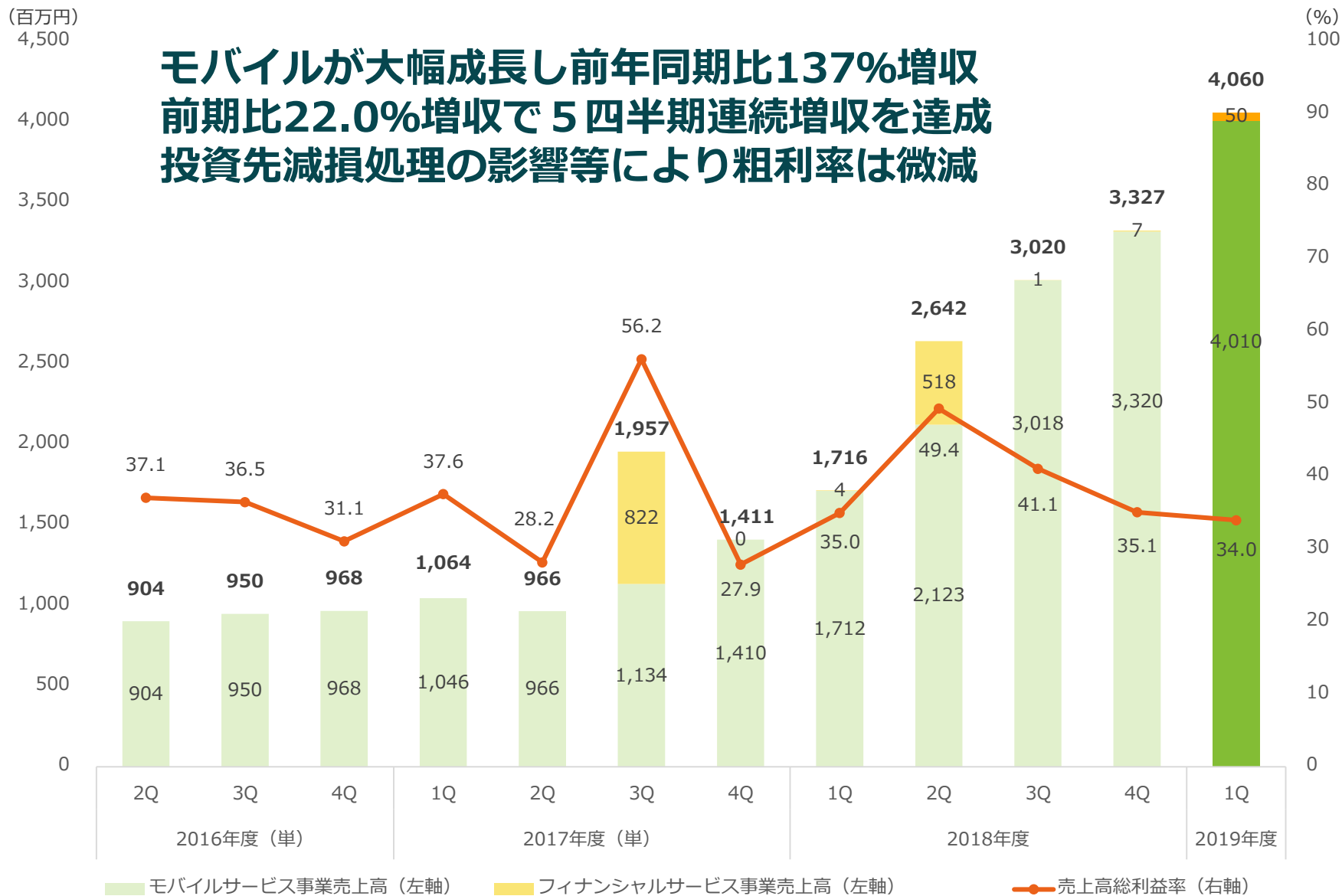
※4：比較情報（前年同期および前四半期）における経常利益、四半期純利益、EBITDAの各数値は、「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」の適用前の数値を記載しております。

## モバイルは前年同期比134%増収・255%増益で過去最高業績 フィナンシャルは投資先の減損処理+マーキュリーが減益要因に



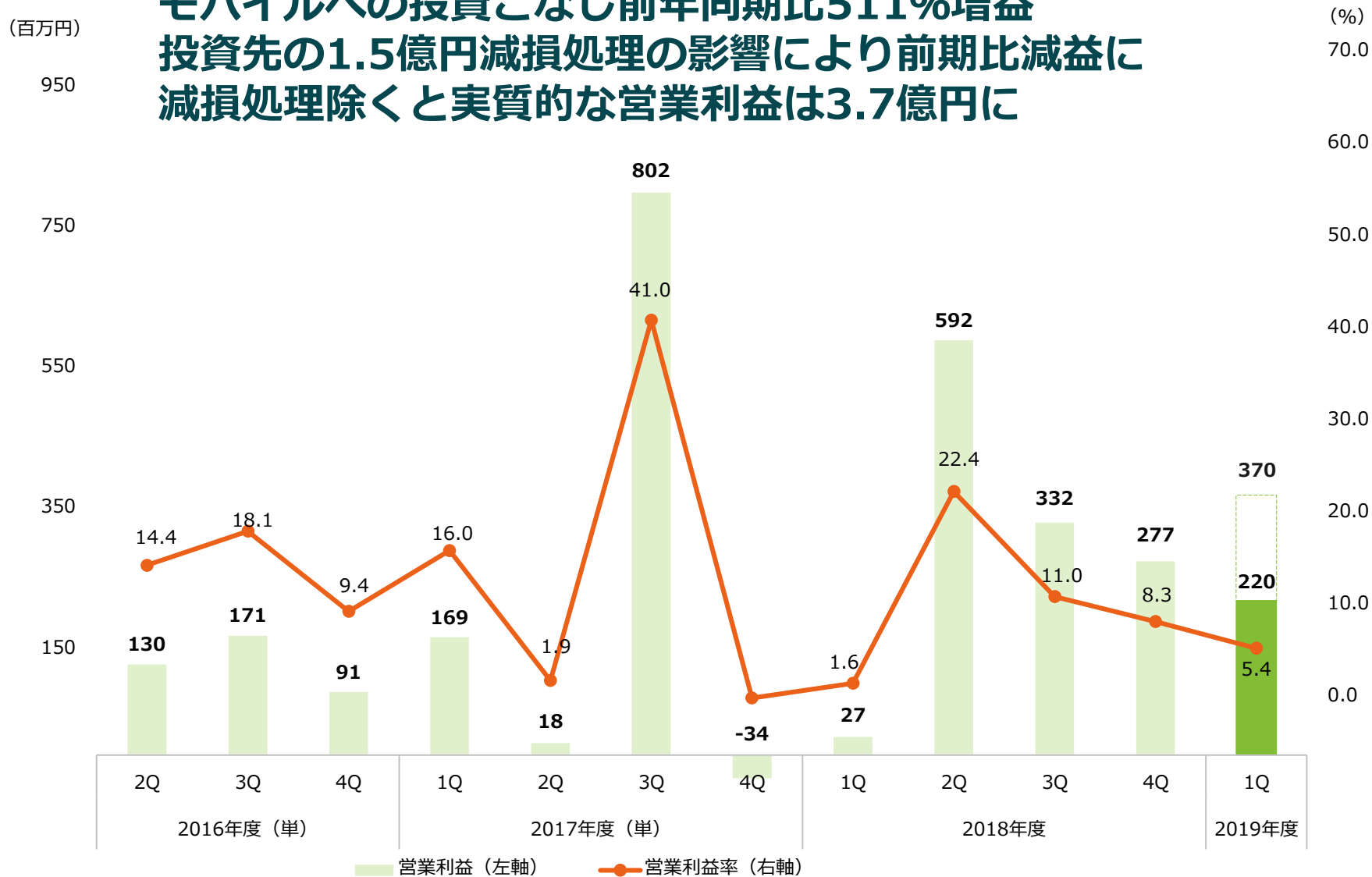
※連結業績と単体業績との比較のため、前年同期比は参考数値となります。

# 四半期売上高推移



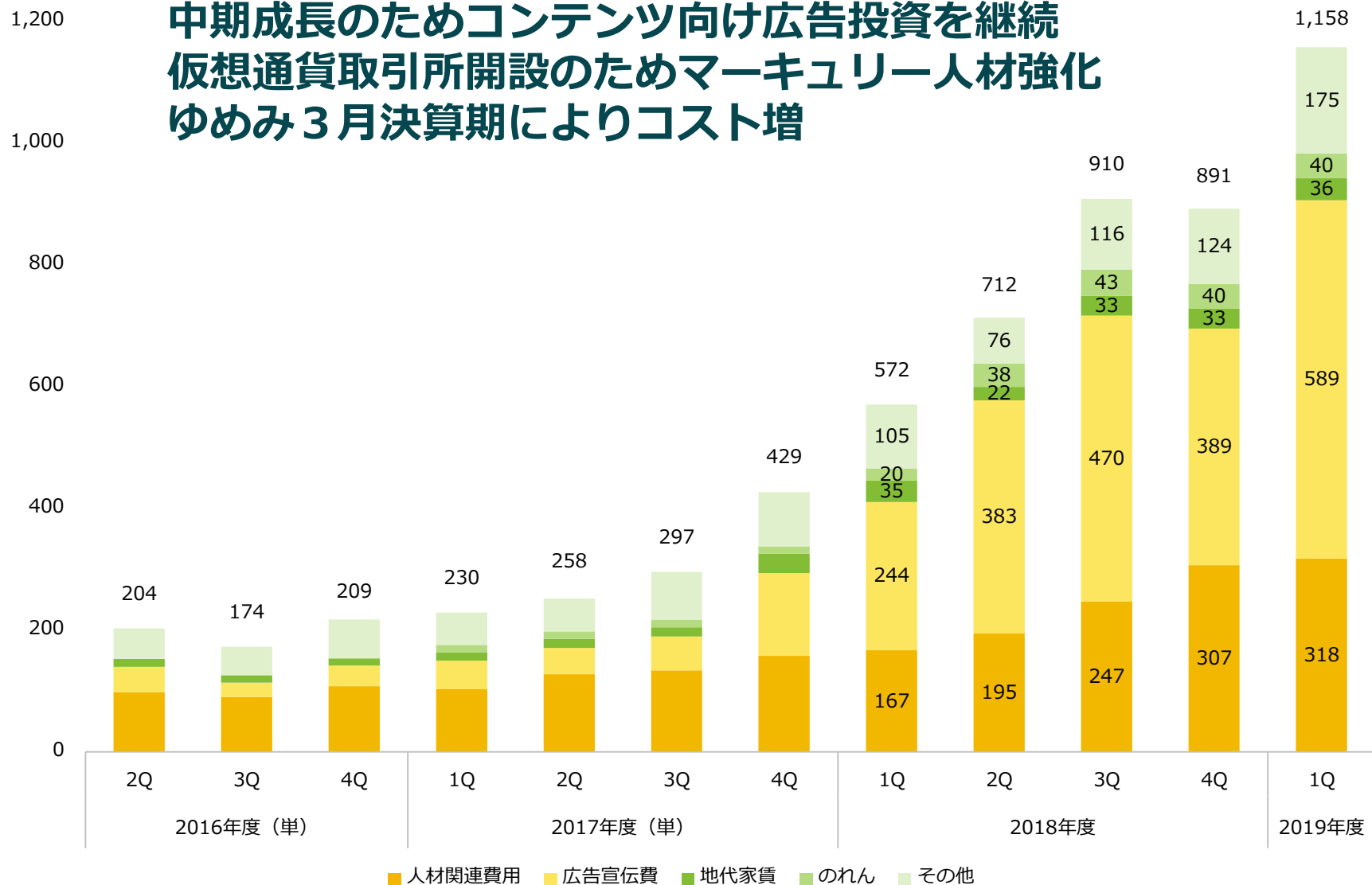
# 四半期営業利益推移

**モバイルへの投資こなし前年同期比511%増益**  
**投資先の1.5億円減損処理の影響により前期比減益に**  
**減損処理除くと実質的な営業利益は3.7億円に**

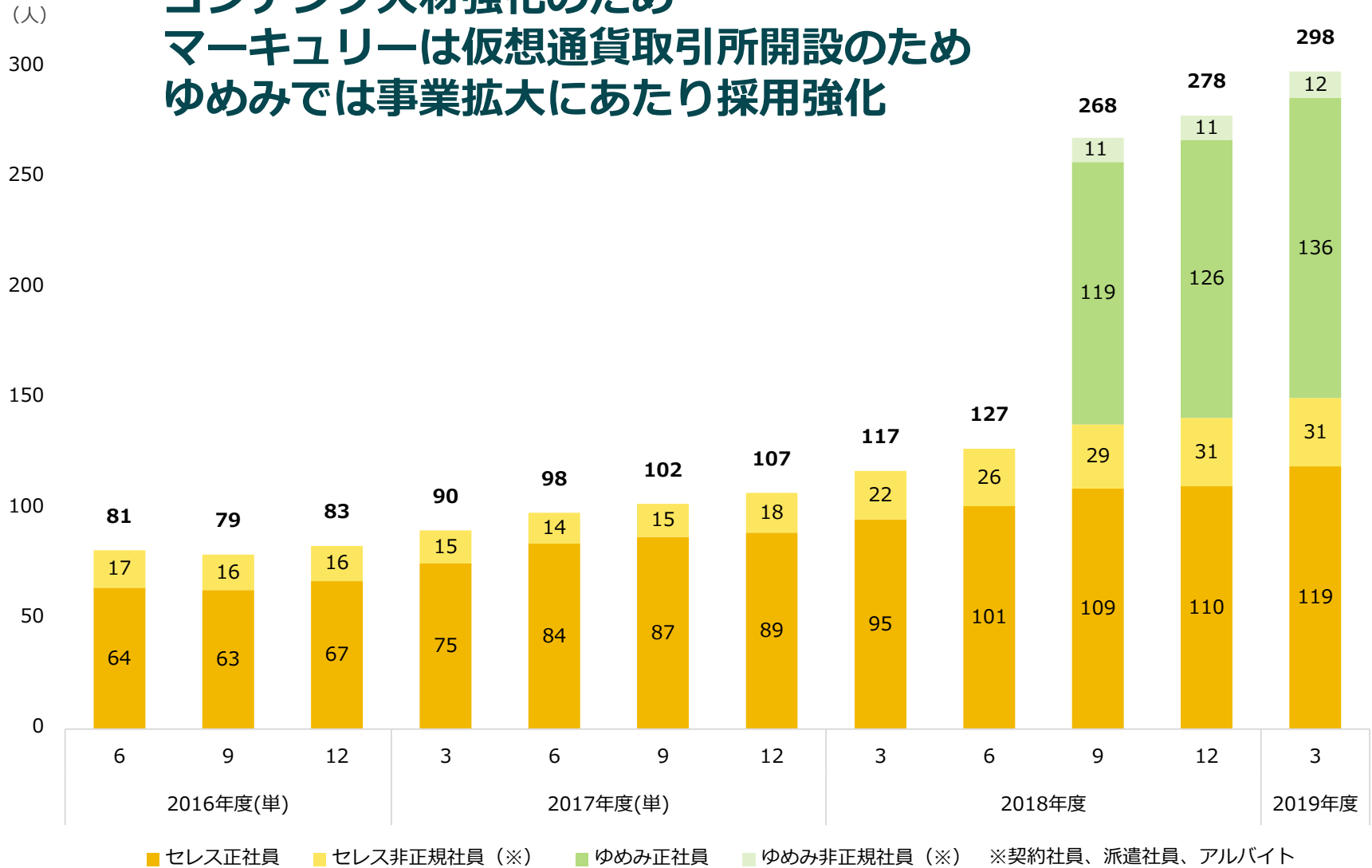


# 四半期販売費及び一般管理費推移

(百万円)



## コンテンツ人材強化のため マーキュリーは仮想通貨取引所開設のため ゆめみでは事業拡大にあたり採用強化



# 貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2019年12月期 第1四半期末	2018年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	7,922 (64.2%)	7,668 (64.3%)	+253	売掛金 +358 営業投資有価証券 -65	
固定資産	4,423 (35.8%)	4,248 (35.7%)	+174		
資産合計	12,345 (100.0%)	11,917 (100.0%)	+428		
流動負債	4,616 (37.4%)	4,161 (34.9%)	+454	ポイント引当金 +150 短期借入金 +100 未払法人税等 -119	
固定負債	1,249 (10.1%)	1,317 (11.1%)	-68	長期借入金 -72 社債 -30	
負債合計	5,866 (47.5%)	5,479 (46.0%)	+386		
純資産合計	6,479 (52.5%)	6,437 (54.0%)	+41	四半期純利益 +138 配当金 -154	
負債・純資産合計	12,345 (100.0%)	11,917 (100.0%)	+428		

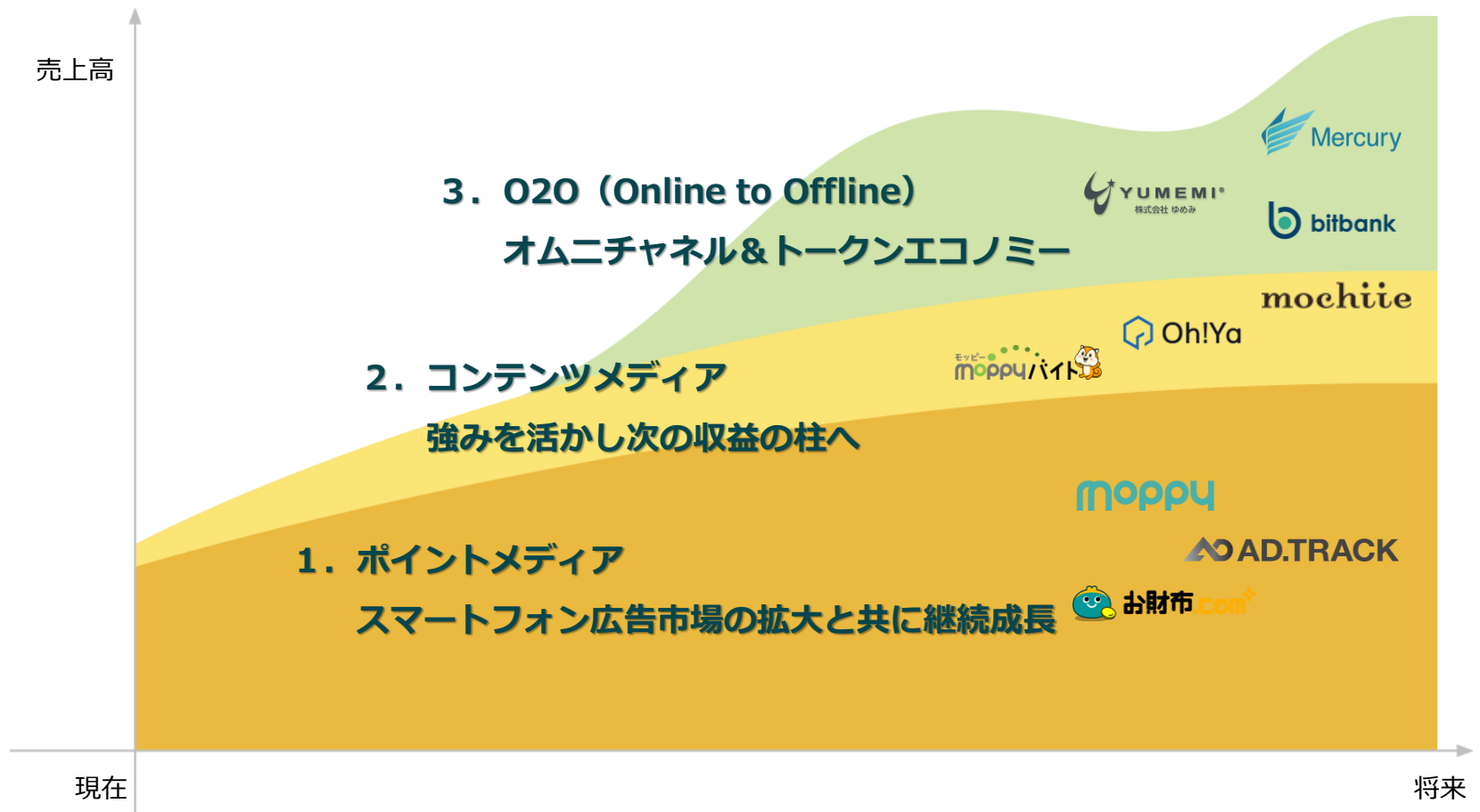
※当期より「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」を適用したことに伴い、2018年12月期の貸借対照表は遡及適用後の金額となっております。





### 3. 成長戦略と事業概況

## 「ポイントメディア+a」へ投資を拡大し中長期成長を果たす



## 2019年 第1四半期

- 2/1 ⑥ (株) マーキュリーが一般社団法人日本仮想通貨交換業協会へ加入
- 2/1 ④ ゆめみが福岡オフィスを「Wework」に開設
- 3/4 ④ モッピー・お財布.comとdポイント間にてポイント交換開始
- 3/6 ⑥ ウォレットアプリ「GO! WALLET」と独自ポイントサービスで提携

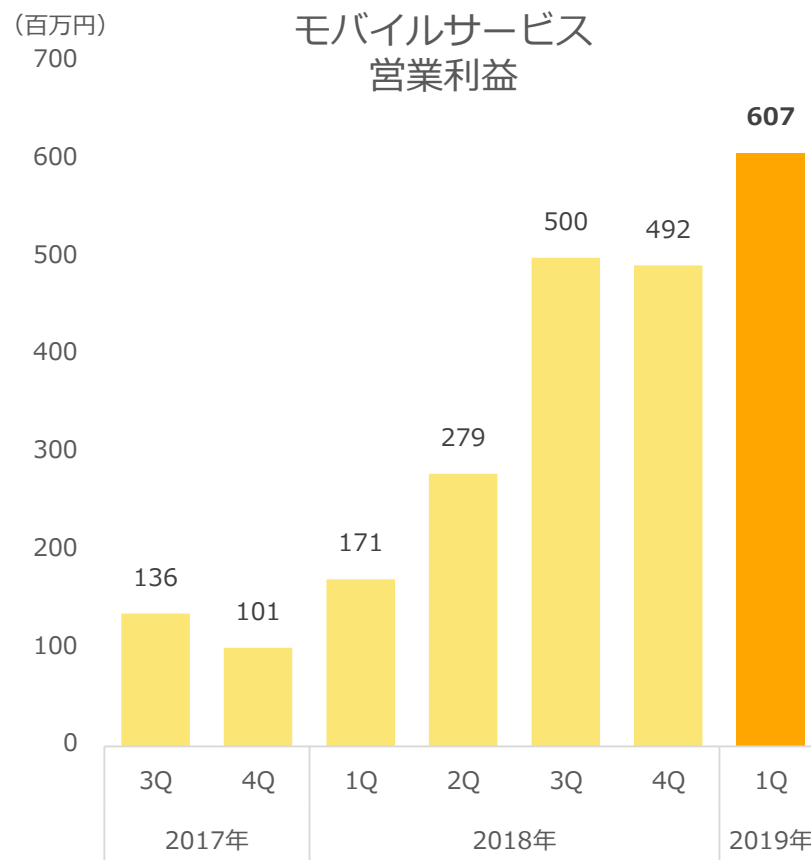
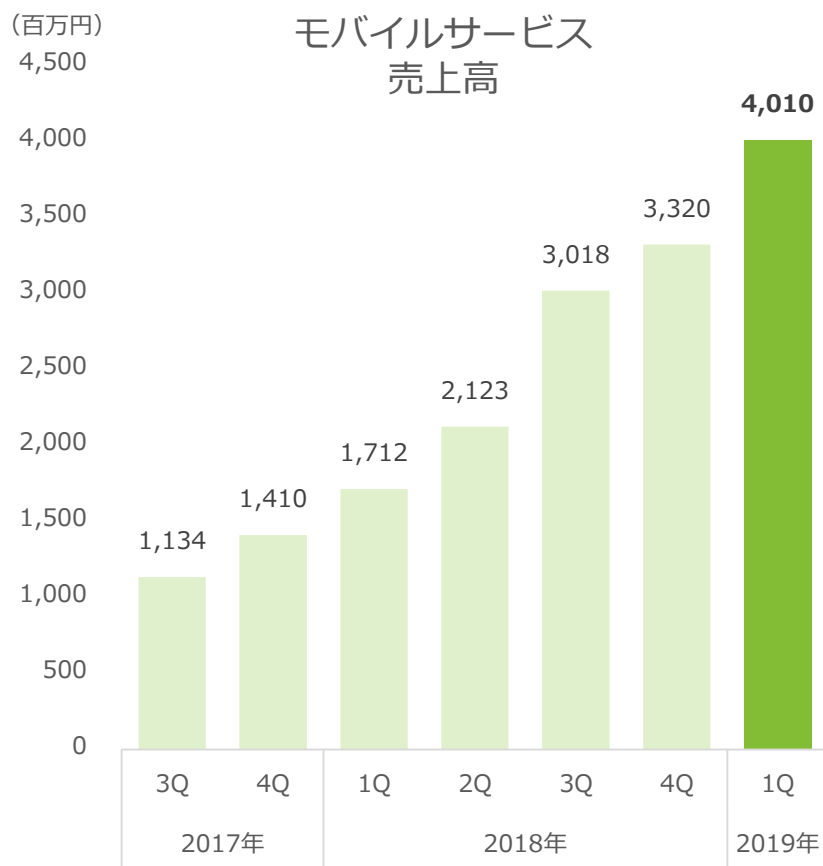
## 2019年 第2四半期

- 4/3 ⑥ 慶應義塾大学におけるブロックチェーン寄附講座を開設
- 4/4 ⑥ quatre (株) との資本提携
- 4/23 ④ お財布.comとgiftee間にてポイント交換開始 (モッピーでは5/20開始予定)

※ ④ : モバイルサービス、⑥ : フィナンシャルサービス

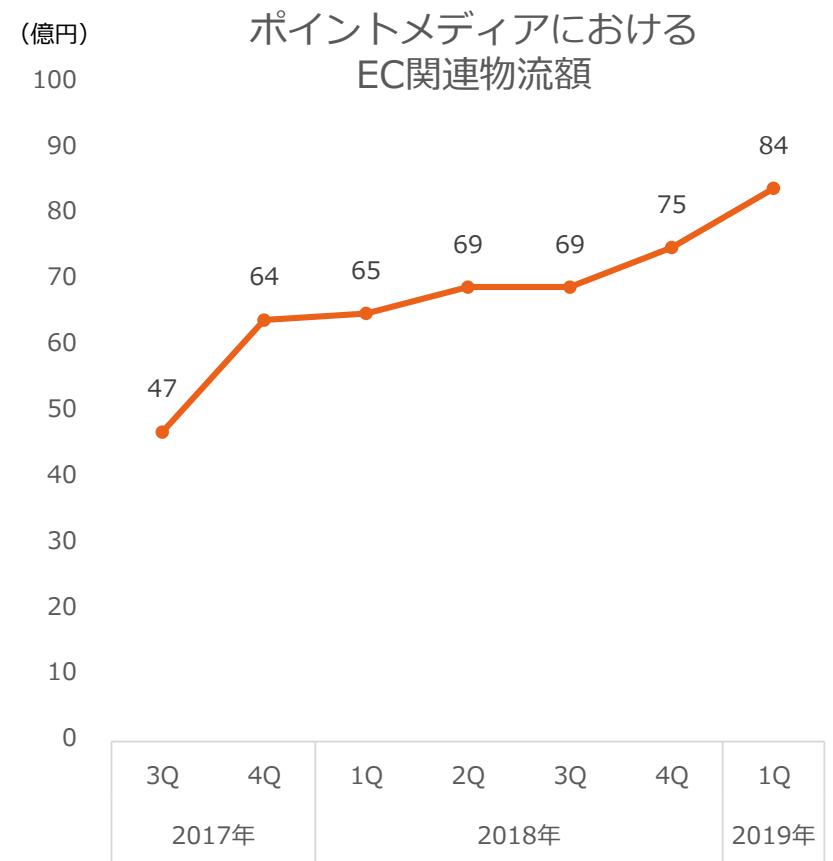
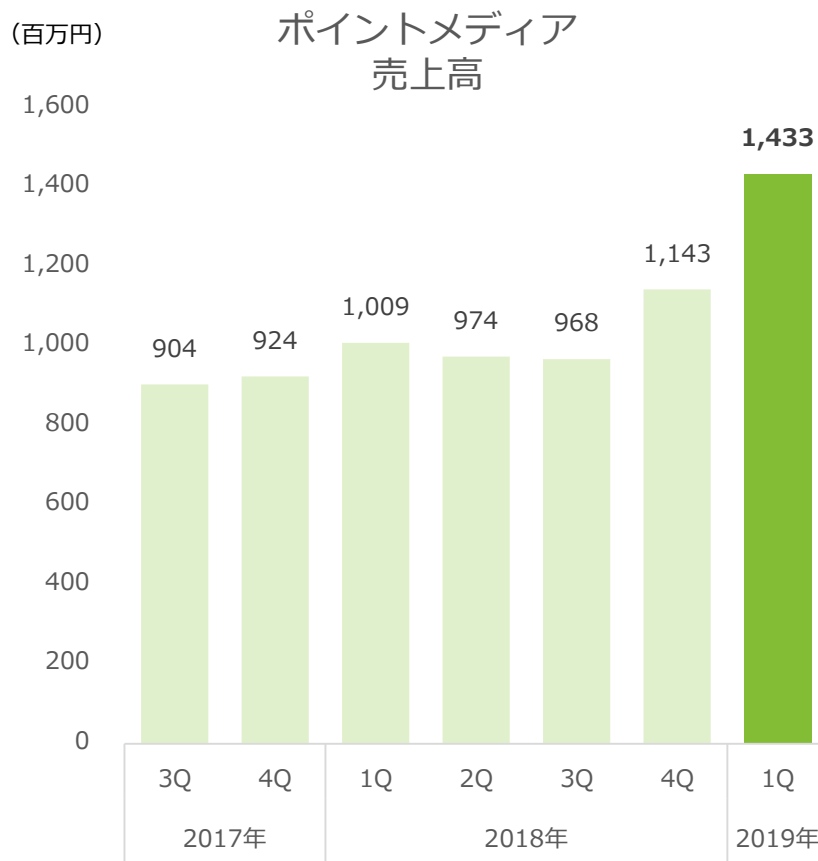


## 前年同期比で134%増収・255%増益の大幅成長を達成 ポイント・コンテンツ共に好調でモバイル収益構造が定着



# ポイントメディアの概況

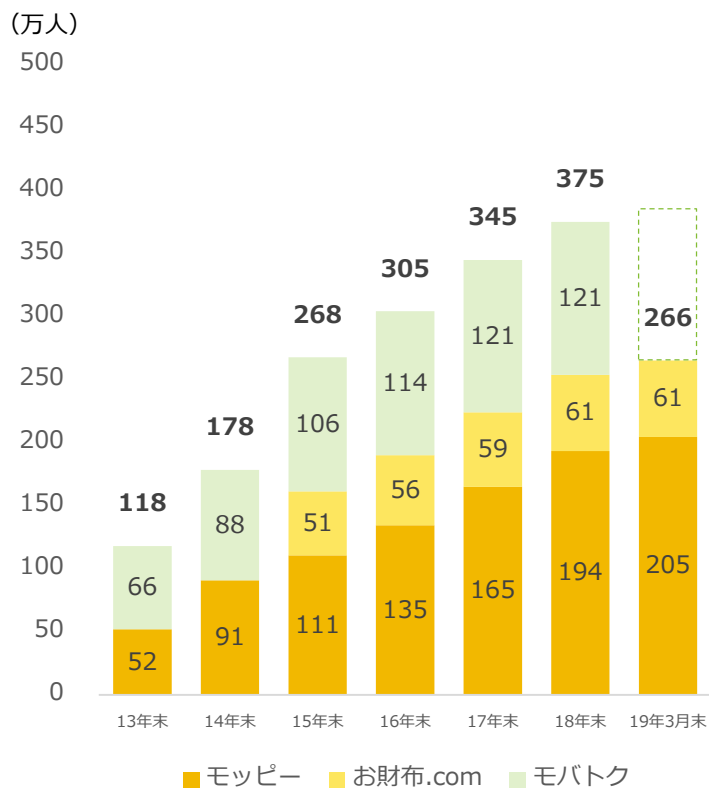
モッピー好調で前年同期比1.5倍近い42%増収で過去最高に  
EC関連物流額も順調に拡大し、年間物流額が約300億円規模に



# ポイントメディアの会員数推移

モバトク統合に伴い会員数減も、モッピー会員数は200万人超に  
ポイント還元やポイント交換先拡充によりキャッシュレス社会の推進

## ポイントメディア会員数推移



## キャッシュレス・ポイント還元



### POINT WALLET VISA PREPAID

消費税増税時の最大5%ポイント  
還元の実施を準備中

## ポイント交換先拡大

### dポイント

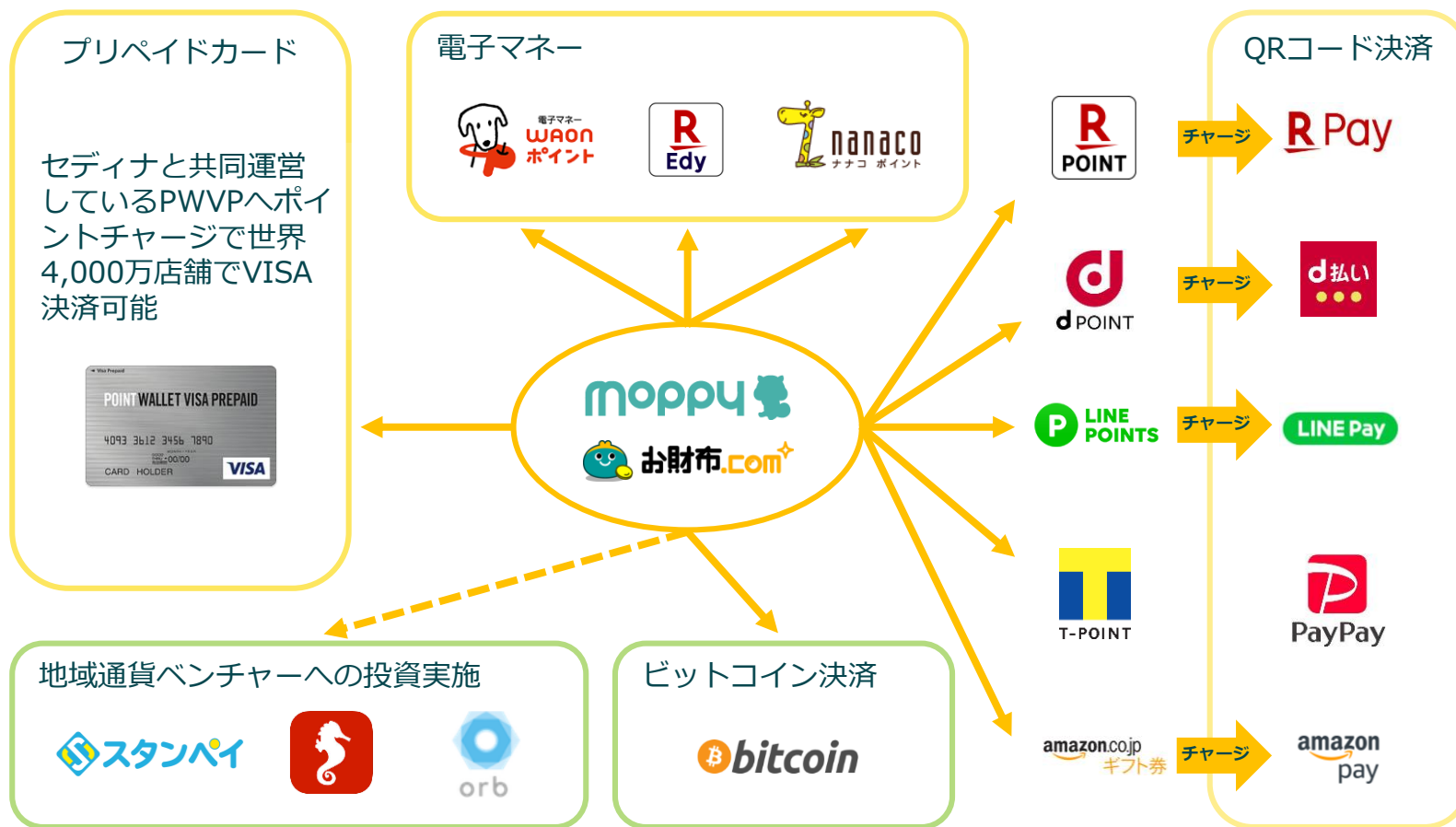
 d POINT ポイント交換により利便性向上  
スマホ決済「d払い」へチャージ

### giftee (ギフトイ)

 giftee サーティワンアイスクリーム、  
サンマルクカフェ、上島珈琲等の  
eギフトへ直接交換可能に

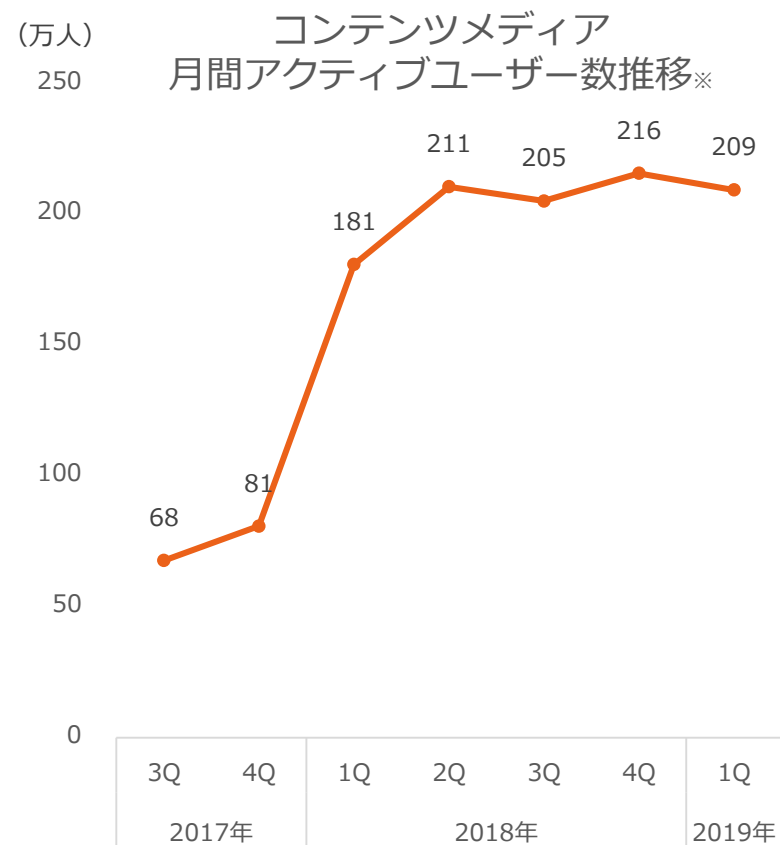
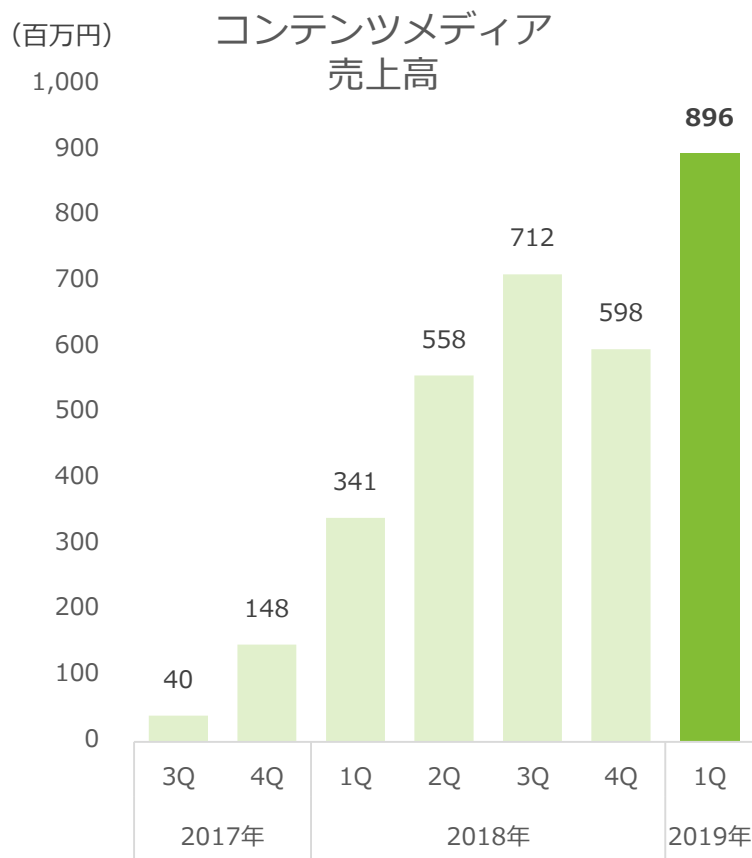
# キャッシュレス決済のハブとなるポイントメディア

政府主導で2025年までにキャッシュレス比率を20%→40%へ拡大  
消費税ポイント還元を契機にポイント市場の拡大を見込む



# コンテンツメディアの概況

コンテンツメディアは前年同期比163%増収・前期比50%増収  
メディア運営ノウハウ蓄積によるARPU上昇・グロースハック強化



※各メディアの月間アクティブユーザー（MAU）合計数の3か月平均



アフィリエイト広告を基にしたメディアを8カテゴリーで運営  
不動産メディアの出稿鈍るも、D2Cメディアが好調

## プレミアムコミックサイト「チケコミ」

基本無料のコミックサイト  
48版元・1,834作品を掲載  
アプリ版開発中

**チケコミ**

©天医無縫・伊月慶悟、地引かずや/日本文芸社



## 投資用不動産情報サイト「Oh!Ya」

初心者向け投資用不動産情報サイト  
投資不動産市況の雲行き悪化も  
コンテンツ強化でトラフィックUP

**Oh!Ya**



## アルバイト求人サイト「モッピーバイト」

採用課金型アルバイト求人サイト  
採用単価上昇により収益改善  
「Google for Jobs」対応済

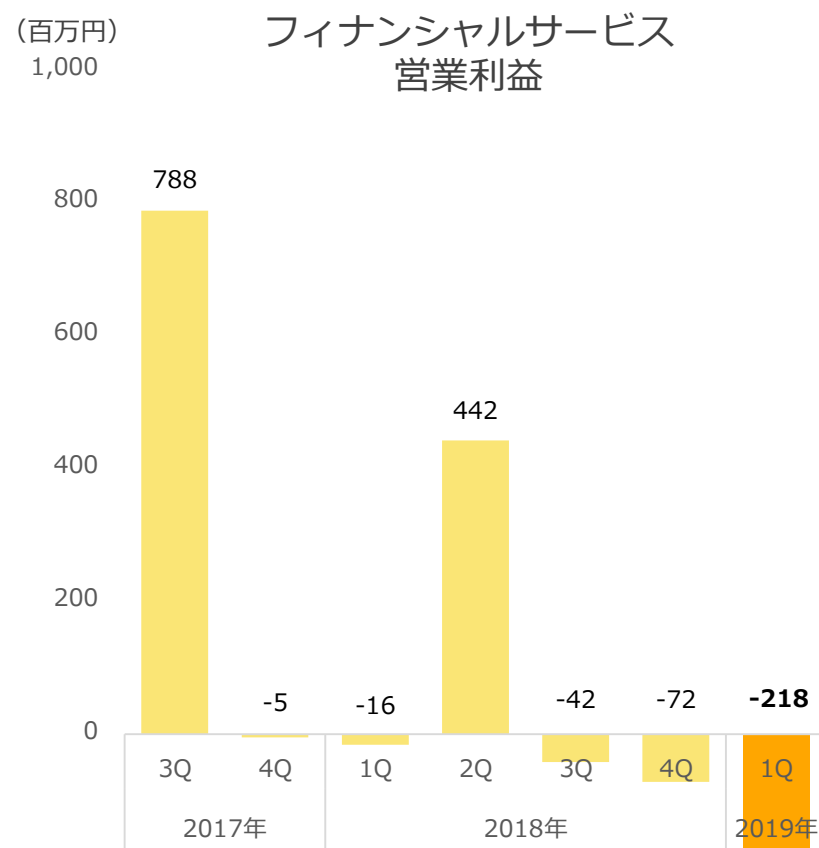
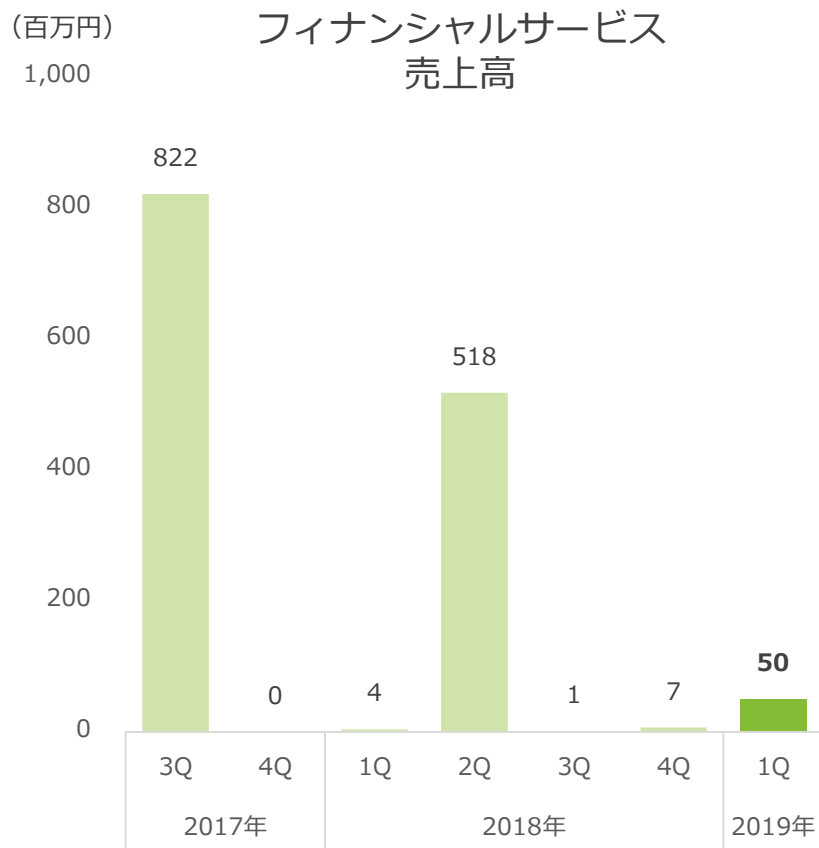
モッピー  
**moppuバイト**



## D2Cメディア「オトナ女子ログ」

Direct-to-Consumerメディア  
アフィリエイト商材ごとに最適なLPを作成  
し運用型広告にて集客  
アパレル・美容・健康食品に強み

## マーキュリーの仮想通貨交換業登録に向けた投資を継続 営業投資有価証券で1.5億円の減損処理を実施し大幅赤字



マーキュリーは仮想通貨交換業者登録に向け引き続き社内体制構築中  
慶應義塾大学にてブロックチェーン寄附講座を開設

## マーキュリーについて

- 2017年9月 設立
- 2017年12月 PoSマイニング事業開始
- 2018年1月 仮想通貨交換業者登録申請
- 2019年2月 日本仮想通貨交換業協会入会

引き続き、仮想通貨交換業者登録へ向けて経営管理体制及び内部管理体制の強化を図るとともに、ビットバンクとの協業による取引所システムを構築中。

金融庁の仮想通貨交換業者の登録審査プロセスにおける書面審査を対応中。



## 慶應義塾大学での寄附講座

当社では、ブロックチェーン技術の進展により、金融市場だけでなく産業構造へ影響を与える可能性があると考え、ブロックチェーンへの積極投資を行っております。

ブロックチェーン技術の進展には、専門技術者育成が必要と考え、慶應義塾大学でのブロックチェーン技術の寄附講座を開設いたします。

講座名称：

「ビヨンドブロックチェーン基礎／応用」

講師：村井 純（環境情報学部教授）

講師：齊藤賢爾（環境情報学部非常勤講師）



# ブロックチェーンビジネスのバリューチェーン

## ▼主要プレイヤー

## ▼セレス事業

### マイニング

BITMAIN



マーキュリー  
PoSマイニング  
2017年開始



### 取引所

coinbase



マーキュリー  
交換業申請中  
100%子会社



ビットバンク  
国内最大規模の取引所  
関連会社



Xtheta  
登録事業者  
2018年出資

coincheck

コインチェック  
登録事業者  
アーンアウト付

### ウォレット



BRD

Bread  
アプリウォレット  
2016年出資



フレセッツ  
B向けウォレット  
2017年出資



スマートアプリ  
DAppsブラウザ  
2018年出資

### DApps/BaaS



bitpay



Sivira  
トレーサビリティ  
2017年出資



Orb  
地域通貨  
2015年出資



GINKAN  
AI活用グルメSNS  
2018年出資



#### 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。